Vol 32 No. 9288 Thursday November 25 1937 **TAIRIKU NIPPO** 昭和十二年十一月廿五日(木曜日)第九千二百八十八號

大陸日報

TAIRIKU NIPPO
(THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
213 & 215 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, - B. C.

本紙定價(前金)
六ヶ月 壹弗五十仙
四弗 弗拾五仙
壹ヶ月 八弗 弗拾五仙
發行所 株式會社 大陸日報社
社長 山崎延吉
晩香坡市カードヴァ二一五
電話 ダグラス五五三三

紙はり

大陸日報

舊む なら……
廣告するなら
印刷するなら
大陸日報
好評の
好評の

赤の暴虐を絶滅せよ
獨逸で防共の精神總動員週
日獨伊防共陣營強化に邁進

ベルリン廿四日——日獨防共協定締結一周年に際し、ヒトラー總統は武者小路大使の晩餐會に出席されし初めて一同大使の招宴に臨席し、昨年を回顧して日獨防共の固い連帯を世界に示威し、防共者で以て同盟をボルシェビズム、反ユダヤ潮流と防共の精神總動員を行つてゐる、即ち第一、第二戦線が強固に立し

全國的宣傳戦を遂行

よりも廿四日までに行動開始として忠誠なる乃至ボルシェビキの反感振りを指摘し、日獨防共陣の行する世界史的意味を力説してゐる(一)防共三國は公然たるコミンテルンの殿堂に挑戦し、人民戦線の形態でソビエット聯邦を利用せ

遂に母国を取られる

ブラジルで益防共政策の強化に見てゐるが特に赤進政策の強硬な最大なる他国で動く聯ソ第四国の出現此の傾向が一般化し且つ強化することを期待する

する外ヒトラー青年團に於ても廿四日

天に とどけとばかり絶叫した、尚往同記念晩餐會には

前例破つて ヒ總統が出席
伯林での祝賀會

ベルリン廿四日——日獨防共協定一周年を祝する記念晩餐會は二十四日午後八時半からベルリン帝國大使館に於て盛大に挙行された、此の夜ヒトラー總統は前例を破つて出席した他イタリア大使アットリコも列席した、出席者はドイツ側からヒトラー總統以下旅々ロンドンの任地から飛行機で歸還したリッベントロップ大使、グーリング空相、ブロンベルグ國防相、ヘス副總理、ソリッチュ國防軍總司令、レーバー海軍長官、ヒムラー親衛隊長、イタリー側からはアットリコ大使、バラニ參事官以下各武官、日本側からは武者小路大使以下柳井參事官、大島陸軍武官、小島海軍武官等であつた、晩餐會は武者小路大使とヒトラー總統の打融けた挨拶に始まり日獨伊三國水入らずの交驩を遂げた後和氣藹々裡に散會した

國民使節
亀井貫一郎氏
けふ鹿島立

横濱廿五日——歐米に於ける戦時制下の社會教育と精神運動を見るに至らなかつたので當初の

日支紛爭調停の企圖空し
九國會議失敗裡に幕を下す
經過を述べた聲明書を採擇して……

ブラッセル廿四日——九國條約に依る列國の日支紛爭調停の企圖は遂に失敗に歸した、尚此日午前十時半開會、各國代表の演説後三時半閉會、最終全體會議は十四日午後三時半閉會、各國代表の演説を總括した後議の經過を叙述せる聲明書を採擇して午後五時半無期休會に入り茲に九國條約に聲明書全文の趣旨に反對を表明せるイタリー代表マレスコッチ伯の聲明を附屬文として附加する事となつた、尚閉會に先立ち米代表デービス氏は極東平和回復には依然眞摯な態度と積極的行動が必要であると挨拶の辭を述べた、宮眞は九國會議代表達、上からイーデン、マレスコッチ、デービス、リトビノフ

明年度豫算案
事務的折衝

東京廿五日——大藏省では明年度豫算の編成に關し二十五日深更に至るまで各省と事務的折衝を重ねたが、主計局査定原案に對して内務省の土木費、拓務省の滿洲移民計畫費その他各省より復活要求あり、然綜費補助費、豫定であつた二十六日の閣議正式決定を延期し近衛首相の關西旅行より歸京するを俟つて三十日に豫算閣議を開き豫算案を正式決定する事に方針を變更した然して賀屋藏相としては物資需給の調節、國際收支の適合等の見地より明年度豫算の總額を二十八億七千萬圓の程度に止めんとしてゐる

ソ聯の外務大臣
罷免は確實！
肅正工作の犠牲となる

東京廿五日——某所入電に依れば、リトビノフ・ソ聯外務人民委員の罷免は確實の模様である、リトビノフが肅正工作の犠牲となつたのはボゴモロフ、ユレネフなど在外使臣の多くが同氏の諒解承認を得ずして罷免又は行方不明となりたるを敢重抗議した爲めである、尚は後任にはポチョムキン次長が推されてゐる

◇

モスコー廿四日——ソビエット政府は廿四日前キーフ軍管區軍事ソビエット委員長シャデンコ將軍を國防人民委員部次長に任命した、但し之は次長の增員を意味するものか或はまた現次長スミルノフ將軍を罷免させる前提か未だ判明してゐない

◇…大陸風景

銀獅獅金熱足並揃へて既に六百餘萬圓、荒鷲、若鷹の亂舞極東の空を飾るべし

……▽……

銃後の赤心、陣地の忠勇、今や微動の揺ぎなし、皇國日本の聖戦諱不朽の誰調を奏す

……▽……

在留同胞の赤心復然るを信ず一塊の炎であつてはならぬ、一瞬の閃光は禁物

……▽……

口を開けば支那を論じ會へば戦況を論ずる我等の街の司令官を至る所に見る

……▽……

さらば街の司令官よ、事變長期に亘る場合、同胞は如何なる六箇三略を用意すべきか

……▽……

さらに

多彩

在獨邦人ブロックスム

……▽……

……▽……

……▽……

東京特信

支那事變の現實 英米よ目覺めよ

（下）十一月九日　東京　波生

此の現實に照らして、いはゆる九ケ國會議は哀れなる存在である、明治時代に於いて早くも其の論ずべき論議と歸結すべき結論とを、ハッキリと示唆した觀がある、即ち常識の一方で、支那の代表者が、獨斷と無鹽とを盛り上げて非を振つたのは唯一の罪であるとして、他の代表者はいつれも、一般論や抽象論でも非を鳴し、却つてイタリー代表の事埒一世した觀がある。たゞ其の中で、日本は、現在の支那に執つて、唯一の一前線に過ぎざかつた、國際聯盟に於ける支那側の提案は、日本の參加は、第一回の會議に於つて我が國の決意も、結局の理由も明々白々、我國の不參加は既定の事實で何等問題されようも動かぬ。從つて九ケ國會議の將來は、たゞ自壞、霧のように消える外はあるまい。

◇

英米流に妥協して、南京及び浦東を中立地帶とせんとし、三國を通じて之れを日本に申入れたのは、生命の緊張に似合はぬ別物でもあり、又殺狗の仕業でもある。南京は支那の政治上、軍事上の根據地で、華北の如きは南京が孤立して風前の燈火たらんとするに乃りて我が攻撃の手を免れ、上海と南京との交通聯絡を絶ち、ちんどする如き餘りに遠し、北支那隊の急進撃に、兩部の敵は是前に浮き、蘇州河一帶の城壁は近い。

◇

眼を北に轉ずれば、太原は攻撃する皇軍は城内を兵火の餐禍に曝すを欲せず、且つ多くの義兵を殺傷するに忍びずして、降伏を勧告し、滿を持して攻撃を中止し、その降伏を待つた、然るに仅かに、せざるのみならず、我が勧降使に對し發砲するの無禮を敢てしたので、皇軍は怒りて攻陥したものである。而かも無辜を殺傷するを避くる爲め、攻略前に外人及び非戰鬪員に退去を勧め、その退路さへ指定して退却の安全を保障したのだ、九ケ國會議の判らず屋は本文の冒頭に述べた日本精神＝武士道を玆にも看取すべきである。この眼目は獨の防共協定は成るを告げた世界の曉は之れから來るであらう。支那をたぶらかし、やがて世界をたぶらかさんとする暗の赤魔は追はねばならぬ、英米も早く目覺めよ。（完）

スペッシアル
本年最後の奉仕スペシャル
◈干うどん　十五斤入　一弗十五仙
◈ホージ茶　一斤　二十五仙
◈椎茸（中葉）　一斤　一弗
◈ココア　一斤　二十五仙
◈ケチャップ　一本　十一仙
◈同　一鑵　九仙
◈センベイ收交　一鑵　一弗
◈キャンデー　二斤　二十五仙
晩市パウエル街四五七　電話ハイ三三五—三三六
ユニオン魚店

笑はせる反日病
在オタワ　竹内生

新聞「レヂオ」の驚き

十一月十七日「ドロンドン・ニュース・ビー」紙は、「日本の全期宗教界」と題して、次の樣な記事を掲げ、各地のニュースを大きく取扱つた。

「日本の二大宗教は、佛教と神道である。佛教は、紀元前五世紀に、ブッダ（釋迦）によつて、インドに創設された。ブッダは、人間の苦惱の原因は、人間の欲望にあるとし、その欲望を滅ずることが、人間の最高の目的であるとした。佛教は、中國を經て、朝鮮に傳來し、日本に傳來したのは、紀元後五世紀である。佛教は、日本の國民の生活に、大なる影響を與へた。佛教は、日本の國民の生活に、大なる影響を與へた。佛教は、日本の國民の生活に、大なる影響を與へた

奉仕する支那青年と拾はれた少女

我が兵隊さんの仁愛になつく

上海戦線佳話・三篇

その一

永津部隊が去る、同部隊で日頃人に親しまれてゐる、支那の日本者をつけ今で日部隊の人々に可愛がつてゐる、記者が昨日、上海戦線に出かけた、この少児は明石隊のペットで銭金でいふ孤児、同部隊が九月廿八日蘇州河入城の際だつた一人街頭に捨てられてゐたのを隊さんが拾つたのだ、親は判らぬが年齢は十二、三、明朗でとても可愛らしいので、部隊中の人気となり中でも人一倍子好きの隊長明石洋行の商居（三）（仮名）は、この子を自分の子として手離さぬ程の可愛がりようで、毎日様子を見に来て上海次の左が、左袖のもの村（仮名）はいつて見るとアオ左袖長のため一緒に抱き押し親の子方もわかりず、二日間迄方に昨日、水津部隊の進軍に伴つて水津日本人商居（仮名）の日本人の心を知つてゐるので、喜んで救ひを求めたものと判り、この後ずつと水津部隊の帰に際の日本過ぎ一部隊に届出の給仕役として左り知子左く立派の給仕役として、支那兵の神に左りもやつて捜索支那兵の神に左りもやつて前線に近い郷中で無心に花左を

その二

○○部隊の前に子供の左い明石少尉は「是非日本へ連れかへつて育てたい」といつてゐた

その三

（長部隊の本部にあてられた○○部落の一番大きい農家の前で日頃勇士達と仲よしになり、乾パンを貰つたり彼高炊を手伝つたりしてゐる支那少年がゐる、阿貴（一〇）といつて父も母もわが軍進撃とともに見手繰ひの同人を殺して上海附近に逃げてしまひ、今では何くれと親切に世話して呉れる日本の兵隊さんにすつかりなついて「アイツオ！」「タバコ！」「キャラメル！」などと日本語を教はつて甘始々としてゐた、兵隊さん達は

何でもこの家の主人は村長みたいなものらしいのです、この子の親の顔が見たいよ、支那人といふ奴は子供が可愛くは左いのかね、自分なぞは郷里に残して来た赤ん坊のことを よく夢に見るよ、奴等は性んとに鬼畜だ

少年の頭を左でながら、この子の親の不人情ぶりに呆れてゐる

本日、日獨協定締結一周年を迎へ悦ぶヒトラー総統（右）とムソリニ首相（左）

＊支那よ何處へ行く

民族性を示す

結婚の奇習珍風

（八）第二、三、三夫人の話

結婚の珍習奇風は、地球上の何處の隅にも物がつてゐる、いやゐ支那は、珍奇風習を豊富に持つてゐる国だけあつて、流石に此の方面でも面子を汚さない

こんな

支那の田舎町左の町家では、家に初めて来た花嫁を、外から見られる室に坐らせて、衆人の前にさらす、すると衆人は、花嫁の容色やスタイルのことについて、散々の出まかせの悪口やあざけりの言葉を高に浴びせかけるのだ、やれ前の晩日夫を怒いでゐたとか、首が長いが背中に毒を背めてゐるとか、そんな左に目がデカいのは女性を叩かれる徴だらうとか……

花嫁を

その中へ入れる左の日本ないい方である

〈……

どにかく、暗々裏々たるものであるさうだ、物持の家へのお嫁入り日、色も鮮かな左紅幔（コシ）

つまり、夫人の家に、夫人が第一夫人（正室）の外に十人居ようと、十人居ようと、第一夫人を除いて、誰も紅轎に乗つて華々しく嫁入ることを許されない習ひに左つてゐるからである

何處の

國だつて、男といふケダモノは、少し小金の融通がつく様に左ると、妾をかこつたりしたがるものだが、支那の様に同じ家に本妻と妾が同居する習慣の國は殆んど無い、尤も、支那では第二夫人以下は側室といつて、母屋の裏とか横に並べて建てられた別棟の家に置くのであるが、それにしてもこれが日本だつたら、大騒ぎとなる左ろう、そん左事を貴方が左ざる左ら、あたしは断然離婚させて頂きます！とか何とか、やゝこしくなるのが常り前である

そこへ

行くと、流石に（？）大國支那である、第二夫人以下の妾と正夫人とが、同じ家にゐて、別に第一と第二以下

△……

たゞ、第一夫人は、妾達にその衣食費を支給する権限を持つてゐるし、紅いコシにのつて来た事が妾達と違ふ位のものである所が、彼等の間に、波風波を捲き起すタネが発生する事がある

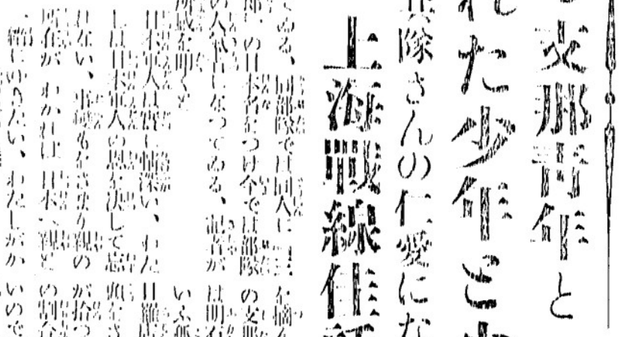
それは

例へば、第一夫人に子がなくて、第二夫人には子供がゐつて、その子供が家産を相続するといつた風な場合だ、さあ、さうでもなると、第一夫人は滅亡高になつて、大久保彦左衛門の唐の巣珠山ではないが『あたしは紅轎にのつてこの家へ来たものですよ、ちやんと礼儀を以てこの家へ迎へられたんですよ、それなのに、お前は何です、金で買はれて来た品物ぢやないですか、天井にぶら下つてる鏡や、床の上の邪魔くさい兵隊と同じものぢやないですか！』と、舌端火を吐かんばかりに、そのプライドを守り貫かうと、まくし立てゝ官憲戦を開始するのである、その官憲戦は、第二夫人以下が、完全に敗北したと認める時間迄、続けられるのである

結果は

事實に於て完全に第一夫人の勝利になることもあるのだが、老巧な夫人は、第一夫人に阿片吸入の癖かなんかつけて、その一件を、うまく纏めて行く手を心得てゐるのである、そこで支那の先賢も云つてゐる『窮すれば通ず』と

——つづく



東京で開催の犬の賣立展覽會

Hudson's Bay Company.

INCORPORATED 2nd MAY 1670.

（志賀一）

明金曜及土曜日は クリスマス前大賣出

EARLY BIRD SALE

▲ベースメント男物の部
スーツ
タキシード
タツプコート
オバーコート
製造元サンプル品
各種お好みの品
サイズは何れも三四より四六まで
スペシヤル　一四、九五

▲ベースメントボーイの部
バスローブ　一、七九
プリーテス　一、五九
マキナーコート　三、四九
半パンツ　八八
長パンツ　一、四九
ツレンチコート　四、四九
ジツパージヤケツト　三、四九
長毛スエター　二、一九
皮製手袋　八九
ネクタイ　一七

▲ベースメント靴の部
婦人及ガール靴
スペシヤル
百五十足　ドクターズミス靴
百五十足　オクスフオード
百五十足　キツドスリツパー
二百足　二、九九の婦人靴
何れも　一、九九
一、六六
一、九九
八九以上
男ラバー！ブーツ
ボーイ靴
スリツパー各種

▲ベースメントガールの部
クレープドレス
二より四才まで六、四九の
ボーイコート
レギングと
キヤツプ三つ揃ひ
スペシヤル　五、九五

其の他まだ〜く澤山のスペシヤル品が
各デパートメントにて賣出中
何んでも十五弗以上のお買物は月賦支拂方法があります
晩市　ハドソンスベー商會
電話シーモア二二三二

▲ベースメント男物の部
バスローブ　二、二九
ベービーローブ　一、〇〇

▲ベースメントステーブルの部
シルククツション　三ツ限りエス・チー四、五呎　定價一七九、〇〇を　一五二、〇〇
レーヨンテーブル掛　二ツ限りエス・チー五、六呎　定價二二九、〇〇を　一九五、〇〇
同サテン　一ツ限りエス・チー七、四呎　定價二九九、〇〇を　二五四、〇〇
毛入ブランケツト　ヤード　一、四六　二九
第一回拂込　五、〇〇
五ケ年保證附　三七
年式各種
ラヂオ
大見切値段
保證付ピアノ
スペシヤル
ラクナー
ステツク
ベル
プレーヤー各種
ウイリス
セイントセインス
ハインズマン
メーソンリツシ
一、〇〇九、九九
一、二九、五〇〇
一、六九、五〇〇
二、一九、五〇〇
一、二九、五〇〇

▲ベースメント婦人の部
婦人ハツト　一、九八
同ローブ　二、二五
ガールドレス
テーブル掛ナプキン附　四、四〇
婦人靴　四、九五
男マキナーコート　三、九五
ボーイ長パンツ　一、〇〇
男サツクス　一、〇〇
婦人アフタースーンドレス　一、九八

▲ベースメント九時スペシヤル
婦人ハツト　四、九八
同ローブ　一、九八
ガールドレス　二、二五
テーブル掛ナプキン附　四、四〇
婦人靴　四、九五
男マキナーコート　三、九五
ボーイ長パンツ　一、〇〇
男サツクス　一、〇〇
婦人アフタースーンドレス　一、九八

▲ベースメントハツト
新型ハツト　一、〇〇
一、〇〇及一、五〇の
絹スタキング　二足
上等クレープ
絹スタキング
皮製手袋　一、七九
毛皮附コート　五九
スペシヤル
上等ドレス　二一、九五
夜會ドレス　五、九五
スエターセツト　六、九五
ブルオバースエター　二、九五
サテンブラウス　二、五九
絹ブラウス　一、六九
スケート用スカート　一、二九
九八

▲ベースメント婦人の部
上等シーツ
ホロック製　八一×一〇〇吋　ペヤ　二、九九
七二×九〇吋上等　ペヤ　二、九五
毛ブランケツト
ペヤ　二、九五

▲四階スポートの部
自轉車
スペシヤル　二七、九五

五階　ラヂオの部
電氣冷藏庫
大廉賣
二ツ限りエー・エム・シー五、五呎
定價一七九、〇〇を　一五二、〇〇
二ツ限りエー・エム・シー六、四呎
定價一九九、〇〇を　一七九、〇〇

▲五階フアニチヤーの部
チエスターフ井ールド
ダイニングルーム
ベツドルームセツト
各種スペシヤル

▲二階ステーブルの部
フトン　スペシヤル
六〇×七二吋　一、九五
キングコツト印
ネルブランケツト
ペヤ　二、〇〇
上等シーツ
ホロック製　八一×一〇〇吋
ペヤ　二、九九
七二×九〇吋上等
毛ブランケツト
ペヤ　二、九五

▲二階ボーイの部
青年スーツ
サイズ二四より三七
百着限り上等
ツ井ードスーツ
パンツ二着附
スペシヤル　一三、五〇
長毛スエター　二、六九
スエター　一、八九
オバコート　九、九五
同　四、九八
ネクタイ
小型
サーヂ長パンツ　三、三九
ボーイ半パンツ附スーツ　三、四九
三、九五

▲二階ハドリニヤ
スタイルクレスト　二三、五〇
サーテファイド　三七、五〇
カストライズ　四五、〇〇
ドレシングガウン　以上
及　一〇、〇〇
一五、〇〇

▲二階男スーツの部

▲一階男物の部
スカーフ　一、〇〇
ネクタイ　五五
皮製上等手袋
カラシヤツ　一、九五
スパツト　一、五五
上等半靴　ペヤ　四、八八

▲三階婦人物の部
コート各種　一五、九五
毛皮附コート　二九、五〇
スーツ　二三、三三
白レーンコート　五、九五

▲二階シルクの部
ブロードクロス柄もの　二二半
カントンクレープ　四九
レーヨン　一五
フラットクレープ　七九
毛ドレス用
ベルベツト　一、一九のもの　八九
一、〇〇

バドミントンラケット　一、九五
子供スケートセツト　三、四五
ボクシンググラブ　二、九五

高松宮殿下
戰線に於る御動靜
敵前上陸戰を御觀戰遊さる
久邇宮殿下御視察

上海二十五日―（海軍報道部）○其地、閘北に於ける戰隊部隊の殘敵、高松宮殿下には戰の狀況等の戰線を詳細に御視察遊ばされたる武勳に關して此の度誕かしき殿下の上海戰線の戰況を詳細に御視察遊ばされたる十一月五日海軍の要請を容れ、十一月十日午前十一時半分宮中を出發、大御所に於て天皇陛下に拜謁仰付られ軍狀奏上をなしたが、陛下には御機嫌の思召を以て御付花瓶一個を下賜あらせられ、裏に宮殿に於て松宮侍從、武官長、宇佐美武官等列席の下に酒饌を賜はり宮中を退下、榮に感激し午後一時宮中を退下した

◇

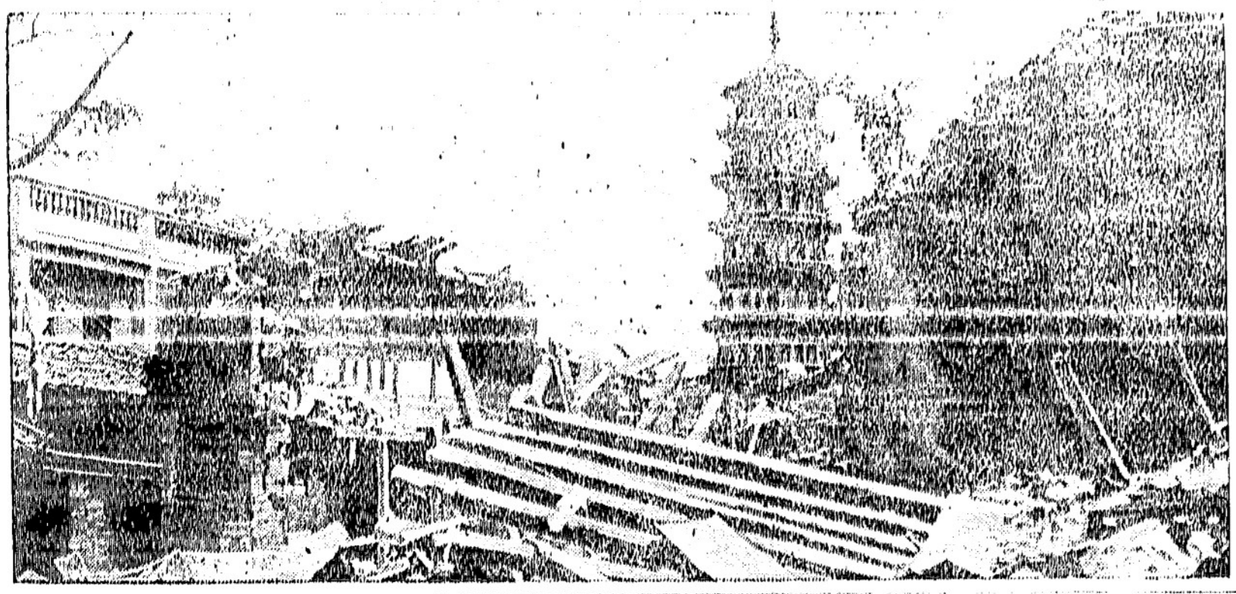
上海二十五日―（海軍報道部）○北支戰線に於ける戰隊部隊の殘敵、久邇宮殿下には戰の狀況等の戰線を詳細に御視察遊ばされたる十一月五日海軍の要請を容れ、十一月十日御歸京遊ばされた

◇

上海二十五日―（海軍報道部）○北支戰線に於ける戰隊部隊の殘敵、久邇宮殿下には異谷敏付花瓶一個を下賜あらせられ、裏に宮殿に於て松宮侍從、武官長、宇佐美武官等列席の下に酒饌を賜はり宮中を退下、榮に感激し午後一時宮中を退下した

◇

上海二十五日―（海軍報道部）○北支戰線に於ける戰隊部隊の殘敵、久邇宮殿下には異谷敏付花瓶一個を下賜あらせられ、裏に宮殿に於て松宮侍從、武官長、宇佐美武官等列席の下に酒饌を賜はり宮中を退下、榮に感激し午後一時宮中を退下した



正確な砲撃、我が海軍機が敵軍第外六路等附近の軍事施設を爆撃した際は相当なる効を上げたものと信じ立派に殘つてゐる

廣東市に支那攻府の出店
行政區域の大變化

國民政府の奥地廣東省政軍聯席會議は廿三日正式に成立せしめ主席に余漢謀、副主席に吳鐵城が就任した、右組織内容は聯席會議の下に廣州民衆救國會を置きソ聯指導の委員を設け秘書處、宣傳、防衛、救護、肅奸、根絶仇貨の六委員會に分ちその下に各指導部を設けてゐる、表面デモンストレーションを行ふ

香港廿五日―國民政府の奥地移轉と共に廣東には政府機關勤務處が設置され軍政部の軍事分局、財政部の廣東事處の如きはその規模に於て殆んど同樣のものとなり、同市が遂に政治の要地と化した爲め省内政治の強化を計ること、なり俄に準備中なりし廣東省政軍聯席會議を廿三日正式に成立せしめ主席に余漢謀、副主席に吳鐵城が就任した、右組織内容は聯席會議の下に廣州民衆救國會を置きソ聯指導の委員を設け秘書處、宣傳、防衛、救護、肅奸、根絶仇貨の六委員會に分ちその下に各指導部を設けてゐる、表面デモンストレーションを行ふ

蘇州方面に自治的な機關生れんとす

蘇州にて廿五日―蘇州の避難民は皇軍の入城、治安回復と共に續々歸宅したが之等避難民を指導統制し安心して正業に歸せしめる適當な機關を設け爲め避難民力者には治安維持費等の如き自治的機關を組織し支那良民の總意により自治的行政を行ひたいとの意向が漸次有力化しつゝあるので當局に於ても出來る限り避難民の歸宅に便宜を與へて居り近く何等かの形で治安維持の自治機關が生れるものと見られてゐる、蘇州には外國人の權益も相當ある見込なので軍は之等權益を出來得る限り保護する方針で廿五日より外人所有の家屋その他の建築物には封印を施し一見明白にすると共に外國人には通行の證照を與へて自由に通行せしめ外人病院等で避難民中の病者收容を希望する者には之の活動を許可する

工藤が試合
今晩八時半

今晩八時半市内オーデトリアムで工藤吉門とアベー・ユアリストが試合する

獻納金六百三万圓
朝日新聞主催

東京二十五日―銃後を擴充せよとの國民の心からなる要望は支那事變の進展と共に益々熾烈となり内地に居る者は勿論遠く異國を離れ國外で働く人々の胸にも湧き立ち世界各地の在留邦人から朝日新聞提唱の軍用機獻納資金に寄き汗の結晶が續々と届けられ二十四日現在六百三萬圓の巨額に達してゐるが、殊に南米ブラジルでは既に十一回に亘り三萬一千四百四圓の巨額に達する赤心の現れを寄せられ國民感激の的となつてゐる

晩香坡 教室大不足
中には定員の二倍

晩市内の各學校は生徒が多過ぎて教室に入りきれずキング・エドワード高校の如きは學校室内運動場を教室に充てゝゐる始末で市學務課では之等學校の過剰學生を收容する爲め教室を增築する計畫である、前記學校の如きは收容人員六百五十名のところに現在千四百名が入つて居り危險であり非衛生だと云ふのである

◉日本人旅館業組合　明晩八時より組合事務所で役員會を開催

時局問題演說會
今晩七時日本人ホール
辯士と演題が決定

既報の日會主催時局問題演說會は今晩七時から日本人ホールで開催されるが辯士及び演題は左の如くである

△開會の辭　司會者）中山義一
△事變ニュース映畫
△所感　久芳光進
△時局と第二世の教育方針　宵木定義
△支那事變の推移と我が在留同胞の覺悟　井手律
△加奈陀日本人會全會員主義强調　内山健六
△ボイコット問題に就て　岩崎興理喜
△戰爭と民族勃興　吉江三郎
△時局委員會の方針及び活動に就て　久岡文治
△時局と加奈陀日本人會　花月然吉
△支那事變を檢討し同胞將來の覺悟に及ぶ　根道領事
△事變ニュース映畫
△閉會の辭　司會者

△ボイコット問題に就て

運動場を教室に充てゝゐる始末で市學務課では之等學校の過剰學生を收容する爲め教室を增築する計畫である、前記學校の如きは收容人員六百五十名のところに現在千四百名が入つて居り危險であり非衛生だと云ふのである

◉日本人旅館業組合　明晩八時より組合事務所で役員會を開催

◇健康相談　明晩八時より九時半迄日本人健康相談所（東ベンダー街四七四）で無料診斷には今晩八時開催となつてゐるが七時の間違ひであると日會では云つてゐる

時事雜談
山本倫由

晩香坡には四萬人の日本人がゐて、ビー・シー州の漁村には日本海軍の將校が鮭を獲つてゐるといふ、まるで瓢簞から大砲の束が出たみたいなスコット牧師樣の御託宣で、加奈陀中を戰慄せしめたちゆことは、今年七十六歳とかの活神樣が最後の御奉公とはかりに馬力を掛けたホームランだ。だがビー・シー州の事情を知らぬ東部の衆なら『なんせ牧師樣の申さるゝ事だまさか出鱈目でもあるまい』位に考へる人が無いではあるまいが、西部にゐる加奈陀人なら、如何に牧師樣の御託とは申せ、信ずる人はあるまいと思つてゐたが、一昨日のビー・シー州議會で保守黨の議員どんが『牧師樣の申す通りだ』と裏書をしたそうだ。

△

由來政治家とか議員といふ手合は、古今東西を問はず嘘と出鱈目は免疫だ。それが議會で何を喚らふと、公園の猿が衆人の前で繼愛の實驗をやつた程にも驚くに及ばないが、苟も聖職にある活神樣が事實を歪曲して加奈陀に忠實なる在留同胞を不利に陷れることは洵に遺憾の極みである。牧師樣なら如何なる出鱈目を放送したところで天下御免か知らぬが、兎に角支那人諸君にとつては涙が出る程有難いか說教であつた。

△

二三年前のことである。當市で發行してゐる某支那新聞が、英文の印刷物を配つたことがあるが、その内容は『ビー・シー州には約十萬の支那人が在留してゐて、その大多數は晩香坡にゐる。そしてそれ等の支那人は何れも本紙の讀者であるから、十萬人の支那人に廣告するなら本紙に限る』云々と吹いてゐたが、スコット牧師の計算した日本人と、支那新聞の發表した在留支那人數を總合すると晩香坡の人口の三分の一は東洋人といふことになる、若しこれが事實なら、加奈陀人が騷ぐのも當り前でせう。

△

それにしても支那人の新聞がビー・シー州在留十萬人と大風呂敷を擴げた心臟には感嘆の他ないが、これがもし日本人の新聞であつたら奈何であらう。喧々囂々在留民から非難の的となることは請合だが、支那人の宣傳といふものは、誇かれ惡かれ白髮三千丈式に行かぬと氣が濟まぬやうだ。

造船及修繕
日發デーゼルエンジン
ヤンニーパーラ造船所

御料理
吉野

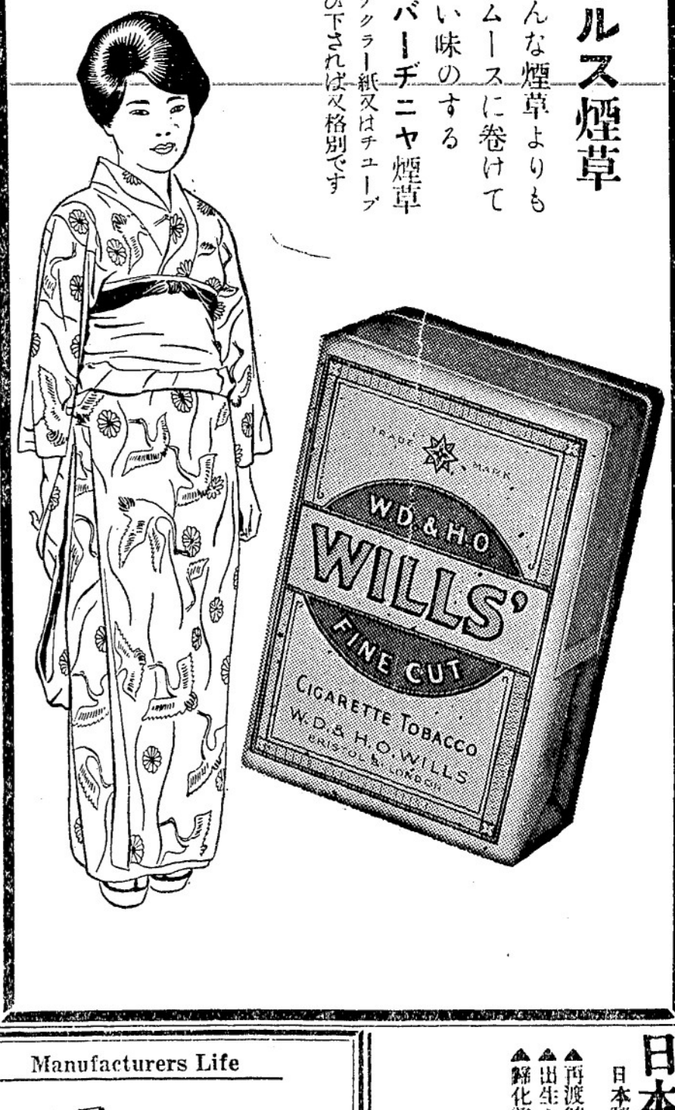
近代的設備と　進歩せる技術
エンプレス・スタヂオ
村上寫眞館

電話ツリニテー九六八アール
アレキサンダー街五八　松岡久枝
マギール街ハイランド二五九八エキス　高橋貴志子

御結婚式ベール及髮飾無料
日本振袖
オイルパーマネントウエーブ
チエリー美粧院

仲介業　水原事務所
土地家屋ルーミングハウスコンフェクショナリー果物店其他どんなビジネスでも賣り又は買ひの御世話致します何卒御利用を願ひます

ウイルス煙草
どんな煙草よりもスムースに卷けてよい味のするバーヂニヤ煙草
シャンテクラー紙又はチューブをお用ひ下されば必格別です



新見商會
放送プログラム

新見商會の日本歌放送は既報の如く來る廿八日（日）午後七時から七時半までシーゲーエムオー局から行ふが特別出演として

△流行歌『もしも月給が上つたら』杉本太一、一條すみれ
△流行歌『流轉』富岡喜久雄
三味線　金太郎笑子
琴　堀まさ子
△流行歌『蒲洲風景』小坂文子
△流行歌『蒲洲風景』

アコージオンのミス牛田が今回あけぼの樂團に加はつた、なほ同日は外にレコードも放送

日本行各汽船切符販賣
日本郵船、シーピーアール、アメリカンライン
▲再渡航證明、移民官手續、妻子及便用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等屆書、加奈陀政府出生屆手續
▲歸化證にて當國旅券下附及妻子呼寄手續、其他一般代理
晩香坡市バウエル街二三五
中山義一事務所
電話　ドグラス　三九四
住宅ハイ二二〇七アール

御子樣の貯蓄心涵養のため
御孃樣の結婚費用意のため
他日事業の資金に當てるため
來るべき老境の準備のため
御家族の生活安定保證のため
世界卅二ケ國に支店を有し最も堅實なる當會社に加入なさる事を御勸め致します
マニュファクチャラース生命保險
晩市アレキサンダー街三〇二一　電話ダグ二八三
信夫保險事務所
ステヴストン　平山一郎
ウッドファイバー　織田實

Manufacturers Life

大強勉
晩香坡市バウエル街二六八
杉山運送合舊天野運送
電話ダグラス三〇五九

□病中病後、身体虛弱、貧血冷症、元氣欠乏、精力性慾減退、産前産後、母乳不足、肺肋膜心臟弱き人等々
◇美味滋養强壯劑
病氣兒無比最適品
スッポン飴　一、〇〇
□腺病質、營養不良、神經過敏、夜泣恐怖性、虛弱質
◇小兒体質改造劑
慈童（美味藥）五〇
□ね○便の專門藥
チオロック一、五〇
△寫眞機フイルム
△現像燒付引伸し
△ソタマン万年筆
△ユタンポ各種
文化商會

柄の良い
◎セトモノ類が
入荷致して御座います
何卒品揃ひの内にお撰び下さつて御用命賜り度く御願致します
優良品の廉賣
香村商店
バウエル街二六九　電話ドグラス九二

今後の上海軍の方針

或ひは漢口重慶までする迄はやる

將介石が屈伏

松井軍司令官が言ひ切る

上海廿五日――松井軍司令官は二十五日午後二時軍司令部で記者團と會見、今後の軍の方針に關し次の如く語つた

將介石が屈伏する迄はやる

「戰鬪は一寸一息いれた所だが將介石が屈伏して來るまで何處までもやるのは勿論だ、此間外人記者團にも話したが之迄で隨分多數の支那兵を殺傷した、其の一部は從來國民政府が上海を根據として居た歐米人も多いかも知れないが、最初の目的を達するまでは何處までもやり、ねばならぬ、その事は動詞にも明瞭に示されて居る、我々は準備をやつてゐる最中だ」

揚子江中心の歐米勢力驅逐

「今後は作戰ばかりでなく作戰を主として他に考へるべき事が多々あると考へる

「其の第一は從來國民政府が上海を根據として居た歐米人に今度こそはつきりと思ひ知らせる事、國民政府をして動くも揚子江を利用し歐米勢力に依存する事が出來ないと信ずるに至しめる事であり同時に歐米人をしてそういふ事が東洋永遠の平和の爲め決して利益でない事を自覺せしめることである」

日本軍を猛獸視の迷夢覺醒

「第二は支那の人民殊に揚子江一帶の民衆が過去に於て國民政府の排日抗日政策に如何に惑はされ日本を敵視し、日本軍隊を猛獸扱ひに考へて居た事を覺醒せしめ度く思ふ、日本軍が占據した地域内の支那人をして過去の迷夢から醒めさし日本軍隊は眞に支那を救ふ意味から此の地を占據してゐるのであり支那人は是と和提携して初めて東洋の平和の基礎が立されるものである事を彼等に充分徹底せしめることが今後は作戰の進行と相俟つて此の二點に力を注ぐ事が最も重大なことと考へる（内外人記者に對し明瞭を缺り奥地の漢口、重慶を據點として南は廣東、漢鐵路（廣東・漢口間）を通ずる英國の對支援助と、北方は外蒙古から西安、新疆を經由するソビエット側の武器輸送とは今後敵戰支那を助つて奥地に據る最も惡性なる對戰に出でしめんとする形勢にあるが、之に對し支那を繞る第三國の援助を遮斷し長期抗戰計畫を速に粉碎する爲には此の際進んで對支宣戰布告を奏請すべしとの議が政府部内に漸次有力化しつゝある

宣戰布告問題に就いて

「宣戰布告問題に就ては吾々として出來る限り慎重に考へて良いに越したことはない、或は租界當局や關係國當局に對し自分の意見を率直に披瀝した」

政府部内に對支宣戰布告

奏請の議有力

東京廿五日――支那側の遷都以來、長期抗戰の企圖はいよ〳〵明瞭となり奥地の漢口、重慶を據點として南は廣東、漢鐵路（廣東・漢口間）を通ずる英國の對支援助と、北方は外蒙古から西安、新疆を經由するソビエット側の武器輸送とは今後敵戰支那を助つて奥地に據る最も惡性なる對戰に出でしめんとする形勢にあるが、之に對し支那を繞る第三國の援助を遮斷し長期抗戰計畫を速に粉碎する爲には此の際進んで對支宣戰布告を奏請すべしとの議が政府部内に漸次有力化しつゝある

上海米騒動

本日の外電に依ると上海は戰火で食糧足らず住民は飢餓に瀕し、日本は是等の市民が米屋を襲撃したとある、けん汽船から米が陸揚げされる時なぞは義勇兵が剣つけ鐵砲で警備してゐると云ふ有樣であつた、今後冬にもなり救濟は大問題とされてゐる

全面的に今日も大爆撃

北は黄河から南は廣東まで

○○廿五日――黄河南岸に於て我が軍と對峙する敵は南方兗州徐州方面よりの援兵及び軍需品の大輸送を行ひ津浦線以西の黄河南岸長清（濟南の西十八哩）を中心とする東西十餘里に亘る堅陣に最近更に四段五段に亘つてトーチカ及び塹壕陣地を增築強化に努めてゐるが廿五日午前十時わが中部隊精鋭○○機は突如後方より長清陣地を急襲し地上よりの高射砲、機關銃の猛射の中に重要陣地數ケ所及び付近黄河南岸の敵小型軍用船百餘隻を爆撃し之を完膚なきまでに粉砕壊滅せしめて悠々歸還した

上海廿五日――海軍航空隊の千田、三木兩部隊は本日午前午後に亘り無錫後方陣地より西方並に北方へ潰走する敵を追撃し是に猛烈な爆撃を加へると共に敵の重要陣地たる常州を急襲して○○キロの巨彈を降らせて敵の軍事重要據點を粉砕した、また一部○○機は長興方面より潰走する敵を襲ひ大打撃を與へた

◇

森永大尉の指揮する海軍渡洋部隊の精鋭○○機は昨廿四日午後四時粵漢鐵路の要地、長沙（漢口の南方二百哩）を襲ひ同驛並に機關庫、軍事施設に大爆撃を敢行し機關庫は大災を起し燒失多大の損害を與へ無事歸還した

同地は粵漢鐵路上に於ける支那軍需品輸送の心臓部であり事變後最初の空襲で國民政府が交通部を移したばかりで同地に大衝動を與へた

渡洋部隊大活躍

南京や長沙に巨彈の雨

上海廿五日――本日午後三時わが新鋭渡洋部隊○○機は○○海軍航空部隊天谷少佐、南郷大尉の指揮する○○精鋭機と行を共にし又復南京上空に現はれ大校場飛行場及び軍事上重要機關に巨彈を浴びせ徹底的打撃を與へた、今日南京上空及び大校場飛行場にも敵機を見ず我が各機は悠々旋回して思ふ存分の活躍を爲した

◇

上海廿五日――海軍航空隊の千田、三木兩部隊は本日午前午後に亘り無錫後方陣地より西方並に北方へ潰走する敵を追撃し是に猛烈な爆撃を加へると共に敵の重要陣地たる常州を急襲して○○キロの巨彈を降らせて敵の軍事重要據點を粉砕した、また一部○○機は長興方面より潰走する敵を襲ひ大打撃を與へた

◇

森永大尉の指揮する海軍渡洋部隊の精鋭○○機は昨廿四日午後四時粵漢鐵路の要地、長沙（漢口の南方二百哩）を襲ひ同驛並に機關庫、軍事施設に大爆撃を敢行し機關庫は大災を起し燒失多大の損害を與へ無事歸還した

同地は粵漢鐵路上に於ける支那軍需品輸送の心臓部であり事變後最初の空襲で國民政府が交通部を移したばかりで同地に大衝動を與へた

けふも廣東大爆撃

香港廿五日――昨日のわが廣東空襲は敵に多大の損害を與へ久方ぶりに南支の空を震撼せしめたが我猛爆はけふも引續き行はれ本日午後零時半○○臺の編隊空中陣は南方から先づ廣東東方の要地石龍上空に現はれ猛爆撃を加へ更に粵漢鐵道上に勇姿を現し軍出驛を中心に大爆撃を加へた、なほ昨日の粵漢鐵道損害は甚大で修理完成までは相當時日を要する模樣である

◇

上海廿五日――艦隊報道部發表に依れば我が海軍航空隊は廿四日隴海鐵道易山東方李莊驛及び淮陰付近の敵及び軍用貨車を爆撃した、また河南省の洛陽（河南）飛行場を爆撃し洛陽に於ては待機中の敵機六機を爆破した更に廣東省の虎門、天河、番禺の各飛行場を空襲した

無錫を完全に占領

大本營發表

（大本營陸軍部發表）吳福陣地占領後敗敵を追撃せる我部隊は十一月廿二日以來無錫附近の敵を猛攻中なりしが今廿五日午前十一時遂に完全に之を攻略せり、無錫・江陰の陣地線は支那側の多額の國帑と三年の日子を費やして構築せるものにして剩へ新鋭強力部隊を配置し太湖南方隔平・湖州の線と共に南京防禦の堅壁と恃み且つ是が死守を誓ひたるものなりしも今日無錫の陥落を見るに至りては南方の據點たる湖州の占據と共に南京の防禦を著しく危ふからしむるに至るものと言ふべし

◇

上海廿五日――揚子江岸の江陰に進撃中の我軍は本日午前十一時過ぎ江陰東南の周莊鎮に入り先鋒は既に江陰五哩の地點に迫つた

勅語に對する司令官奉答文

皇軍の威武を顯揚

東京廿五日――（大本營陸軍部發表）去る十一月二十日優渥なる勅語を拜したる松井軍司令官の左記奉答は昨廿四日幕僚長宮殿下より上聞に達せられたり

奉答文　中支那方面に於ける作戰の成功は偏に稜威の然らしむる所なり、今計らずも將兵の忠勇を嘉奬せられ優渥なる勅語を辱なふす、寇に感激恐懼に堪へざる所、特に戰歿傷病者に對する聖慮を拜し感泣措く所を知らず、臣等倍々奮勵精進以て聖旨を奉體し誓つて前途の萬難を克服して皇軍の威武を顯揚し以て宸襟を安んじ奉らむ事を期す

右謹みて奉答す

日本の新聞が對英戰を叫ぶ

亞細亞から驅逐しろ

東京廿五日――本日の讀賣新聞は對英聖戰を叫び

『日支戰鬪は支那に於ける英國の勢力を粉砕するのみでなく全アジアから英國の勢力を驅逐して初めて終結すべきものである』

と主張した

尙は東京朝日新聞は

『我等はエチオピアを合併せるイタリーの例に學ぶものであり我等はファッショの勇氣を眞似るものである』

と書いてゐる（外電）

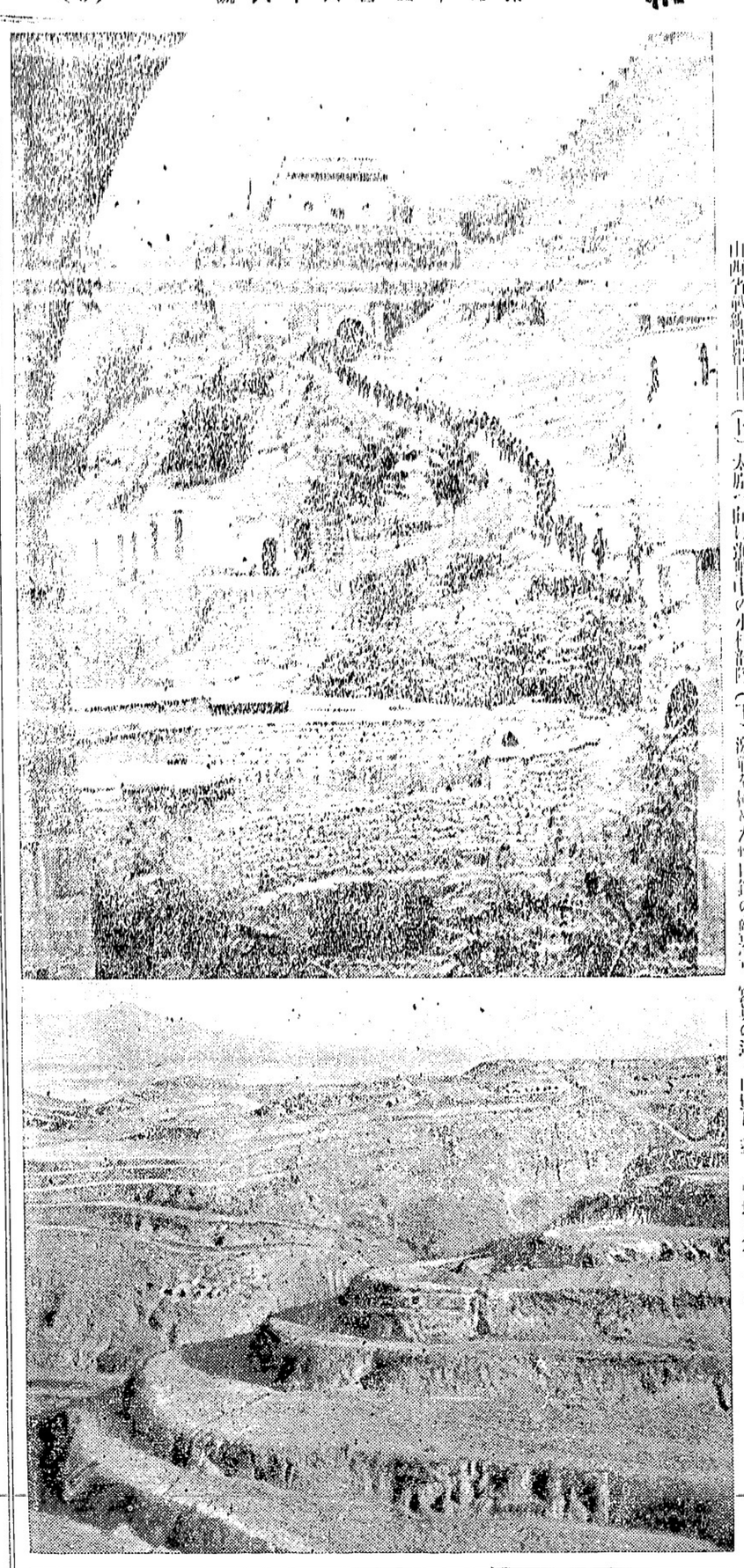
◇

日本に於ける反英思想が濃厚なのは既に報道の通りである

鹿兒島縣人不慮死

内田盛重氏

鹿兒島縣人内田盛重氏は晩斉坂下の小林部隊（下）激戰を極めた中国の要塞、寧波の通り山越は盡く敵塁を爲してゐる



新聞記者戰死

無錫方面で二名やられる

上海廿五日――讀賣新聞特派員渡邊峰雄氏は本日午後零時半無錫に於て敵彈の爲め戰死し、又東京朝日新聞社映畫班前田氏も本日午後一時半敵彈の爲め同樣戰死を遂げた、報道戰の華と散つた兩氏は軍屬として待遇され其の英靈は靖國神社に合祀さるゝ樣である

昨夜の強風

近頃は夜中になつたら風がやつてくるが今早朝も相當の強風が當地を吹きまくりパラード灘にはスカウが數個漂流してゐたが陸も海も大した損害は報せられてない、今日は久しぶりで晴天但し風目和だ

▲酒井氏繼續の東へステングス街一三〇クリスタル・ランチのフィシ・アンド・チップスはとても美味なので大評判

◇營業案内◇

御禮
先般貴地方出張中は御多忙中にも拘らず御配慮に預り御陰樣にて好結果を得て廿二日夜歸社仕候、一々禮狀差上ぐべきが本意乍ら以紙上有難く御禮申上候
大陸日報社　河上秀義

ケローナ、西サンマーランド、エストバンク、バーノン、キャルガリー、レスブリッヂ各位樣

捜索廣告
夫對田武司儀去る日曜日ブリタニア・ビーチより漁船にて歸村の途スコミッシュ方面にて行方不明となり目下死體捜索中なるも死體は多分同方面に浮き上るものと思はれ死體發見者は州警察に屆られたし、發見者には州警察の手を經て私より謝禮として金一百弗支拂ひます
十一月十八日
對田スズミ

シンガーミシン
日本最古の經驗ある代理人から求めになれば即座に修繕其他の事が明にあひ皆樣の御便利御德で御電話次第速刻御相談に伺ひます致します
電話バイ五九七八アール
フランクリン街一七六六　柳澤元仁

法律事務所
エツチ・ヤング
ドミニオン・バンク建物内一〇九號室
シーモア二七八七
（日本語を話します）

新ミシン
古ミシン取換へ並に御便利の爲め各種ミシンをバウエル街ミッシプに取揃へて居ります

新ミシンを求めの方は是非當店に御用命下さい附屬品一切も取そろへてあります
マネジヤー　鶴田收藏
電話バウエル一九三三
自宅シーモア一九七一エル

本社は日本人各位の御便利の爲め各種ミシンをバウエル街ミッシプに取揃へて居ります

○今回日本人タキシー乘者は全部（メーター）に依つて料金を申受ける事に致しました

晩市日本人タキシ
ハイランド七六五

名畑タキシ
ハイランド七六五

オーケータキシー
西第二街一六七七
電話ベエヒユ八一三三エル

シヨワタキシー
シーモア二八八七
バウエル街二六一

高田タキシー
電話（ドグラス八三六
（シーモア三七五七

ヤマタキシー
電話シー（一四一四
（一四一五

會我運送
電話ダグ四七八八アール
晩市バウエル街三八一

結婚及葬式用花類
中村花屋
バウエル街二七〇
電話シー五九三五

○土地家屋、ルーミングハウス
○各種商店プレス屋等見込ある
○各種所に安價な資物澤山あり
○火災自動車盜難保險
晩市バウエル街參參四
一般公代理業認
奥村事務所
電話シー二八壹貳
住宅バ一三〇六三アール

運轉手入用
ヤマタキシ

モーターミシンに經驗ある裁縫婦人求む
至急に求む
仕事は年中あります
東ヘスランク街三六九
メードウエル裁縫工場
電話ドグラス五〇七七

求上流家庭働き娘至急入用
電話ダグ二九六二エキス

十名

運送業
バウエル街二三八
電話シー三五二八

花
花東花輪
一切の御用は是非當店へ
晩市西第四街二三五六（キチラノ圖書館前）

金魚御小賣
イーノー花屋
佐々木菊三郎
電話ベービユ七八八一

Singer Sewing Machine Co.
393 Powell St.　Shop Phone Sey. 1931L

久留文治
●デヨーヂヤ街一九六九
電話ツリニチー四七〇二

晩市アレキサンダー街三六二
●話ダグラス七

電話シーモア一〇二八
出張所●電話シ！モア一〇二八

電話フェアモント五五四三
●一六三二エル夜間
呂原登代

●八年式最新無熟バー
●トウエーブ
電話シーモア三四七

日本行船客切符取扱店

新小説

時代の影

竹田敏彦

（166）

（傷いた蛇）

「本社護士は、それを見ずに、さう、此間もよつぱど、私は出しなやうに、さう言つて、電話をかけたが、なんだか、なんだか、胸騒ぎもするんだ、それに日本を出いた。

それ附記したのが、又彦の心底を呼び想はした。

「さう言へば、私はからさうしてゐるんだらう」

又彦は、師子と一緒に、靴下の上に坐を通つたといふ在曾の、「さう言へば、よく自にする名前のやうな気がした。

「年齢も一つ違ひだし、或は春雪さんのお父さんと同郷の青友かも知れない……そしてことによると春雪さんの接遇などについても、相當な理解をもつてゐる人かも知れない」

石塔商　花崗岩、大理石の記念碑彫製
オーシャン・ビュー墓地近く
晩市キングスウェー三〇七〇
電話カールトン一九五
又はカールトン七四七エル二
Kingsway Monumental Works

各種電線取付修繕
迅速確實に御安く致します
電氣學校卒業　上田繁
晩市プリンセス街五三〇
販賣　電話ハイ三七四二エキス

カステラ
カフイー
晩市バウエル街三九二
住田よし

名灸秘灸
家傳灸治療
腦神經痛、寒病、肺病、肺炎、カタル、氣管支炎、腹膜炎、心臓病、胃腸炎、著膜症、子宮病、子宮加減症、血の道、子供かん氣、リウマチス、腰痛、脳膜炎、腹膜、卵巣、卵巣の炎、腹膜、卵巣の変化、引下げ、産後、産後の養生、月の障、月の不順、月の不順、月の不順

蓮

三上於菟吉作
齋藤五百枝畫

草木成佛（その廿八）

本立にかこまれて、山陵が雲のやうにたなびいてゐる在に、法華經經塚の小堂は建立した。

在四月、雲はしらりに鳴いてゐる。朝夕にその妙音は清澄な響を伝へ、法の師、蓮經上人は、雲がホツ、ホケキヤウと出てゐる。

門前の御手作は、もはや下葉に成りすみ、ふはしずと、日蓮は鎌倉の人々に、新居の朝夕を報じようと出かけた。

船が帰つてくるにつれ、漁が上つてゆくにつれ、佐渡と鎌倉との往来はしげくなつてゆく。御所からの消息、信徒の見舞も多く、それにつれ法華の法は師のもとに下つてくるので、日興と熊王は御坊たちと大忙しなかなか殺生——でわつたのが、こんなに、自分たちの胸に殺してしまへに成つて来た。

たが、この、上行の菩薩の御仕事は、香々、日を追つて進展する四月は月日とめの移轉、開目鈔の筆をおかれると、すぐさま本尊鈔の執筆にうつり、最蓮坊、一の受職灌頂が行はれるのだつた。

処遇の智水を頂きに浴いて、本師釋尊より、本化の上行菩薩へ、内証相承を、いま、末法の大法師、日蓮上人、妙法蓮華經の法華經行者、受法、受職を使ふといふ職位を使ふる灌頂の式なのだ。

御座の宝れさせたまへる天竺、大唐の法門を教たてまつり、日本の法門を教たてまつり以、明月八日夜半、宿時、妙法の本門戒をもつて受職灌頂せしめ奉る者ホリ、この受職を得る人、いかでか現世なりとも妙覚を成せざらんや——

と、最蓮坊に御文を宣された。

に灌頂の式がわつたのち、一切衆生に代わる者に灌頂し、法門を授けるとは、受くるものにも授けるものにも、その慨びは深大だ。

——世尊に去る二月のころより、大唐の法門を教たてまつり以、明月八日夜半、宿時、妙法の本門戒をもつて受職灌頂せしめ奉る者ホリ、この受職を得る人、いかでか現世なりとも妙覚を成せざらんや——

と、最蓮坊に御文を宣された。

◇都々逸◇

ミルクでも、買ひ乳でも、よそさんの手に、負けずに肥るが、たのもしい

牛島式神力無双術靈氣療法
東カドバ街五六一
稲本治療所
稲本梅太郎

電話ハイ五一〇四エル
遠近に拘らず御一報次第お伺ひいたします

◇ソーダスト取次
▼ドライファー壹等品コード六弗五拾仙
▼ファースラブ一コード四弗五拾仙
▼インサイドフアー一コード五弗五十仙
▼エッチング同三弗五十仙
ローヤルフューエル
電話ハイランド一八〇七
森
Royal Fuel (Wood & Coal)

新
ミール薪
稲本治太郎
電話ハイ五一〇四エル
遠近に拘らず御一報次第お伺ひいたします

寄いですふには
シャンテクラー
シガレット紙
に限るです
質が上等で喫い易く而も直型と嵩りないです
それは
誰もが愛用するです
自動式に紙が出てくる
用型ブックが
僅か五仙です

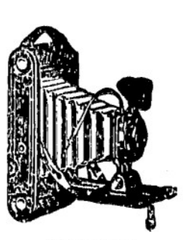
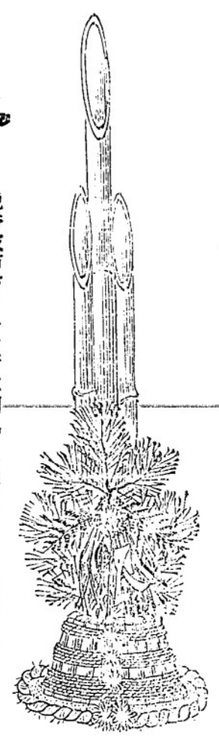
日本人各位に告ぐ！
葬式に際し火葬のあらゆる便宜を與へます
美しいファミリー・チャペルで葬式が出来ます
背様の喜憂りを歓迎します
オーシャン・ビユー火葬場
郊外電車でセントラル・パークを少し過ぎバタソン街驛にて下車二ブロック奥へ行く
電話 ツリニチー五四七八
カールトン一二二五
市内事務所 西ハスチングス街八一五
ルーム一〇六

CENTRAL CREAMERIES (B.C.) LIMITED VANCOUVER, B.C.
OUR OWN BRAND
FIRST GRADE
CREAMERY BUTTER
アワーオウンブランド
バター
各日本人商店で賣つて居る
高級バターです
是非ダグラス五五〇四
と御電話下さい
セントラル
クリマリー

B.C. WOOD & COAL CO.
割薪値段
インサイドフアー
同一コード 七、七〇〇
同半 三、七〇〇
同二等品一コード 六、〇〇〇
同半 三、二〇〇
同三等品一コード 五、〇〇〇
同半 二、七〇〇
ヒーター
一コード 同 五、〇〇〇
半 同 三、〇〇〇
ブロック
フアースラブ
一コード 同 四、〇〇〇
半 同 二、五〇〇
御電話下されば早速お届けします
ウツドランド街埠頭
ビーン薪炭
電話 ハイランド九一五
夜間 ハイ一八九二アール

日本行汽船切符直接販賣
晩市バウエル街三一六（ライオンルーム二號室）
移民官手續再渡航證明
妻子及使用人呼寄手續
諸願届代書一般代理業
竹内事務所
竹内事務所
電話シーニ三四 自宅ハイ二九一三エル

◇ビルダーサプライ
各種ランバー、シングル、ドアーウインド、ネール、セメント其他建築材料一切最も安價にて販賣いたします
尚住宅、鶏小屋、バーン等の請負を専門として居ります
電話或は郵便にて御通知下されば遠近に拘らず早速セールスマン出張の上見積値段運搬其他萬般御相談に應じます
ファンリッチ製材會社
瀧本與次郎
ビーシー州ポート・ヘネー
ツランク・タウンライン口
ド角
電話（ヤード ヘネー七九
ミル 同一三五エル
自宅 同六八

晩香坡市バウエル街二四九 電話シーモア四八八四
誠心誠意
誠心堂
249 Powell St. Vancouver, B.C.
現燒像付



回鎮咳 祛痰 解熱劑
コデチン（CODETIN）
最新發明實質本位のセキグスリ
△適應症 セキ、慢性急性氣管支加答兒、百日咳、小兒セキ、ゼンソク
二十五仙△四十仙 八十仙
最新式〇兒〇節理想藥 LANTEEN(Brown)
四 弗
新年ハガキ調製（美麗優雅）致します
御申越下さい。見本送附致します

先祖傳來
名灸骨接筋違
男女諸病一切及び子供のかんの灸並慢性胃腸病、婦人病、つわり
晩市プリンセス街二四一
電話ハイランド三〇四二エル
鎌倉

日本人各位に告ぐ！
葬式に際し火葬のあらゆる便宜を與へます
美しいファミリー・チャペルで葬式が出来ます
背様の喜憂りを歓迎します
オーシャン・ビユー火葬場
郊外電車でセントラル・パークを少し過ぎバタソン街驛にて下車二ブロック奥へ行く
電話 ツリニチー五四七八
カールトン一二二五
市内事務所 西ハスチングス街八一五
ルーム一〇六

バウエル街參參參
前川魚肉店
電話ドグ三八七
同三八六
住宅ドグ四七八七アール

和洋雜貨食料品
漁船用具一切
ポートエシングトン郵函三一
岸本商店
P.O. Box 31,
Port Essington, B.C.

和洋雜貨食料品
東洋商業會社
P.O. Box 46,
Port Essington, B.C.
主任 大橋松次郎

二十年來日本人諸君の御用を承つて居り充分の經驗と特別の注意を以て御下命に應じます
東ヘステング街壹貳參五
アールエスベル葬儀社
電話ハイランド一五
BELL FUNERAL HOME

こまかぼ販賣
製造

ブリキ細工
プラマー仕事
バウエル街四五七
西畑ブリキ工場
電話ハイ四二六

晩香坡市ゴーア街三三九
加奈陀日本人會
電話ツリニチー七二
Canadian Japanese Ass'n
329 Gore Ave., Vancouver

鍋燒うどん、そば、丼物一切出前いたします
バウエル街二五〇
天狗
電話シー一三五三八

ちり鍋、すき燒
ゴーア街一二八
玉川
電話ダグ四七九三アール

御料理
日の丸
バウエル街二六六
電話シーモア三〇七九

會席御料理
バウエル街參六貳
金太郎
電話シー二〇〇三

御料理すし其他
バウエル街三六二
林家
電話ツリニテー三七〇〇

晩市ゴーア一三〇
樂々
電話ダグ二七〇六

手打うどん、そば
並に御飯
バウエル街二三七半
さがみや
電話ツリニテー四三七四エル

御會食に
御招宴に
ゼヒ
ぜうぞ

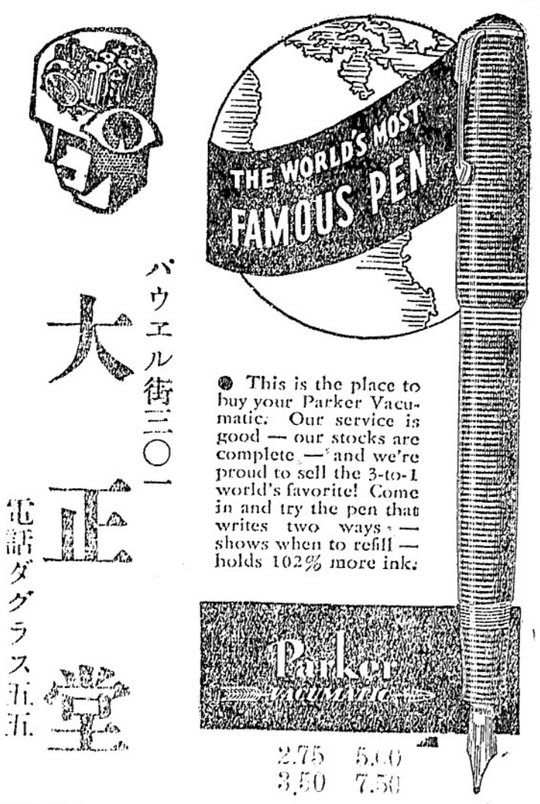
魚類
肉類
青物類
カマボコ
和洋食料品
バウエル街二六二
茶木魚店
電話ダグラス五五四二

和洋御菓子
晩市バウエル街二三五
横山菓子店
電話シー六九四一

シンガーミシン
日本人部代理人
堀七藏
キャンピー街二三九九
電話フエヤ四〇三一エル

御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘ず配達します
バウエル街三四二
パウエルベーカリー
布田惣一
電話ダグラス五五三一
住宅第七〇街一一九八
自宅電マーボール六〇七エル

晩市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ドグ二三七
大工一切
工具
道具

新型透明軸のパーカー萬年筆
太細二種様に使用出來得るパーカー


ミカド・ツランスフアー
バウエル街三〇一
大正堂
電話ダグラス五五
電話ステプストン二

荷物運搬は凡て確實親切勉強で好評な
晩市バウエル街四六三
運送社へ
電話ハイ一五六六

高等南京料理
コツクは斯道の腕さへで料理は皆様の口に合ふやう
美味に調理 値段は大々的勉強
晩市バウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

日本酒 日本里芋 ナラ漬 トロロ芋 粕 大玉栗 鯨尾羽毛
御馳走の御用はヒ常店で
バウエル街三五三 電話ツリニチー五七八四
自宅電話ハイ四九七九アル
スター魚肉店

晩香坡市バウエル街
男女著類一切
澁谷商店
電話ダグラス五五二五

男女子供靴一切
晩市バウエル街三三八 電話シーモア八六一九
加藤靴店
住宅 東カドバ街七九一 電話ハイランド九二七X

和洋雜貨 食料品
晩香坡市バウエル街五六六
西村商店
電話ハイランド一三七五

649 Hastings St. E. Vancouver, B.C.
電話ハイランド六〇八四エル

この血潮滴る日章旗 敵の城頭高く揚げよ

母が送る血の小指

母の城野とんさくと野城の母　義一軍曹

（上海戰線の華々しい戰況は片岡交通兵團の奮戰に基づく）上海戰線の華々しい戰況は片岡交通兵團の奮戰に基づく左小指を切り落しそれに朱印を押した知り合ひの義盛二等兵の實弟義盛二等兵の聞くも涙の『赤誠の母』に優るものを聞くものとして感激の涙を流させてゐる、至誠さくさくは女子供らも五指の使用人を使つて機織工場を營んでゐる

小指に添へて

（原文のまゝ）

（京城通信）

（上海通信）陸軍異動は去る一日付で發令されたが上海戰線の○○部隊では、後方部隊は四日前線部隊は五日配布された官報によつてその内容を知り、明治節のお祝ひにつゞいて進級の祝辭が互に取交はされ、陣中風景が各所に見受けられた、蓮花大佐、渡邊少佐、中村大尉、平山大尉、淺川大尉等は早速新しい

肩章のお古頂戴

上海戰線の進級風景

月章

血染の旗に添へて

（同）この旗は母が眞心こめ刺し血染の旗、大君に忠、國家のため第一線に立つて天晴れ

紙はり

日本着物

花様の御支度

御結婚式

無料貸

式用振袖あり

クラウン生命保險會社

Brilliant Scholar Killed In China

Dr. Toshio Kajiyama, Cumberland-born graduate of the University of British Columbia and Toronto University Medical College, was killed on October 7, while on duty as a first assistant-surgeon with the North China Army, according to word received by friends in Cumberland.

Dr. Kajiyama received his earlier education in Cumberland, graduating from the district high school with honors and a gold medal. He then attended the University of British Columbia where he took his bachelor's degree with honors in literature.

The year following, Dr. Kajiyama entered the second year medical course at Toronto University and graduated second in proficiency, winning a gold medal. He was a scholarship student throughout the four-year medical course.

In 1932, his alma mater at Toronto recommended him for membership in the Pan-American Medical Association.

Going to Japan in 1935, Dr. Kajiyama was on the staff of a Tokio hospital prior to joining the army corps this year.

Canada-born Nisei Study At Waseda

Four Canada-born second generation Japanese are enrolled at the Waseda International Institute at Tokio, it became known recently.

The four are William Yoshy, Tetsuro Uzawa, Hiroyuki Yamanaka and Tetsuro Aida.

Jr., Sr., A.Y.P.A. To Meet Tonight

Members of both the senior and junior A.Y.P.A. of the Seikokai are asked to attend the meeting tonight, November 25, from 8.15 p.m. at the Seikokai.

As it was decided to unite the two clubs at the last meeting, the purpose of tonight's meeting is to reorganize the club and to re-elect the officers. Secretaries and treasurers will be requested to make the annual reports.

Full co-operation and punctuality are requested from all members.

Y.P.S. MEET POSTPONED

The Y.P.S. executive meeting which was to have been held on November 28, at the gym parlor has been postponed until December 5 at 2 p.m.

RUGGERS DRAW BYE

The Nippon Rugby team receives a bye in the second division B section schedule this Saturday. In the evening of the same day, the club is sponsoring a dance which will take place at the Fuji commencing 9.30 p.m. Proceeds will augment the fund for the care of injured players.

NIPPONS LOSE AGAIN

The Nippon Intermediate basketball team which had vainly knocked on the door of victory three times in a row, did not get that far against Varsity at the Y. W. C. A. gym on Tuesday night. It was the porch, metaphorically speaking, that they painfully crawled on to in the third quarter, the score reading 12-13 against Nippons. Then, Nippons messed up every chance to score in the final period and handed the game to Varsity, 26-16.

Kiide Shimizu and Joe Akiyama worked hard, but the others may have deserved some part of the tongue-lashing they received from their manager. Yuki Uno, Tommy Nobuoka, George Suzuki and Mike Tobo were the others.

Nippons will meet the Y.M.C.A. tea mnext Tuesday at the Y.W.C.A. gym at 9.30 p.m.

HOOP LEAGUE TO START

The Japanese community basketball league will open its season tomorrow night at the Japanese gym, according to reliable information.

Four teams have been organized and it is expected that the league will provide interesting contests.

Tairiku English Section Published Thrice Weekly

The *Tairiku Nippo* English section is published three times a week, on Tuesday, Thursday and Saturday. News must be in our hands on the day previous to publication and not later than 2 o'clock.

Season's Greeting Cards

Plan to Send Your Friends a Neatly Printed Greeting Card this year.

Our Widely Varied Stock of Xmas and New Year Cards Guarantees You Satisfaction.

Tairiku Nippo Sha, Ltd
(Printing Dept.)
213 East Cordova Street

Regina Letter Tells Of Club

Sir: We are very enthusiastic over your special English section which is published for the advantage and benefit of Japanese-Canadians. We wish to give it our heartiest support.

May we have the liberty of keeping in close contact with your readers in B. C. through your columns that a better co-operation can be gained and the second generation's future in Canada be made fruitful?

We are only seven young boys of Regina who have got together and formed a club called Shinyo Kai with the objects of unity, collaboration, and social fellowship. Although we are handicapped by being a small club, each member is giving his utmost and feeling his responsibility to prosper our club, assuring himself, in turn, a prosperous future.

It is indeed, regrettable that Japanese are so scare in this part of Canada. We are of the opinion that the future of the second generation should be in the Prairies and in the Eastern Provinces. Although this year the farmers in Southern Saskatchewan experienced the worst drought in the history of Canada, we should not be hopeless nor feel disappointed when opportunities and vast resources are promising.

We close with assurances of our best support and our wish for your ever increasing prosperity.

SHINYO KAI.
Regina, Saskatchewan,
November 22.

Steveston Plans Table Tourney

STEVESTON--A table tennis tournament is to be sponsored by the local Bussei at the Bukkyokai on Sunday, November 28 from 2 p.m.

To the champion will be awarded the three-year perpetual trophy donated by Mr. Toshio Tazawa.

A Tokio Tale

Conclusion

When we heard recently that there still exists a spot known to a handful where the body of this mother of tragic memory was buried we could hardly wait to visit the legendary place. We patiently waited for the two-day downpour to clear and started out on our little investigation to the west bank of the Sumida, beyond Asakusa.

After many inquiries and explanations we found an empty lot in Ishihama-cho with a wooden post erected by the city designating the spot at the Myoki-zuka. (When she became a nun, she was given the Buddhist name, Myoki.) Surrounded by small houses and artisans and laborers of the poorer class, the Myoki-zuka is a mound on top of which is a small mutilated tombstone. There are no other remainders except scattered pieces of broken stone which might have at one time been the stone steps or walls that preserved the place as a historic spit.

All around the children of the district were playing games. As we walked around, finding right before our eyes the very earth that reminds us strongly of the beautiful legend of the past, the youngsters, unaware of its historic importance, stared at us as if we were strange creatures from another world interrupting their peaceful play.

We could not help recall that pathetic verse the mother composed when she discovered that her beloved son had passed away:

"Bird of the Royal city—come.
I ask of you a boon, if true,
The name that they have given you:
Is he alive the one I love—
Is he or is he not?"

The entire district around here called Hashiba abounds in tales of old Yedo. Not far north of the Myoki-zuka we found the site of the Sosenji, one of the largest temples of the Yedo period. It is just across the street south of the giant Tokyo Gas plant and near the Shirashige bridge. Destroyed by the Great Earthquake, it is practically effaced not a trace remaining. Only a temporary barrack which is apparently serving as a temple and its office stands in the centre of a huge plot of land. With lots of lumber lying around, it seemed to indicate that some sort of reconstruction work was going on.

Within the same compound, we found the grave of General Hiraga, (1723-1770), the celebrated botanist of the Yedo days. It is said that this scholar died in prison for having killed the publisher of his books.

From here we walked southward on the wide road, which was once the main entrance to the temple, with tall pine trees lining both sides of the path. After about a quarter of a mile, we spotted a jizo that used to scare the children of Yedo. It is now squeezed in between the two-storied houses and barely maintains its popularity on the occasion of festival nights held on the sixth, sixteenth and twenty-fourth of each month.

Here, too, one of the precious remains of the Yedo period has been pushed aside to make way for the new civilization of concrete roads and automobiles. Children of today are not scared of the Great Jizo which used to frighten boys and girls of years ago. The old Jizo scarreb dy the earthquake and fire stands there lonely with a broken staff. With a red cotton bib around its neck, it seems like the very sign of anachronism.

From here we wanted to go to the Mokuboji or Mukojima, across the river, where is supposed to be the grave of Umewakamaru, but time did not permit it. It was getting late. So we walked westward to Sanya. This compartively small area not far from Asakusa played an important part in the development of the gastronomic history of Yedo. To every epicure of Yedo it was known for the existence there of two of the most celebrated eating establishments of the time — Yaozen and Jubako.

Yaozen, though no longer at Sanya having been moved to Tsukiji, to this day maintains its reputation as the best that the culinary art of Yedo can offer. But the Jubako, commonly known as the first house to serve broiled eel in tiered lacquered boxes (jubako) was another restaurant that used to be the pride of Yedo. It continued to keep its high rating until the fifth generation of the founder, but only last year it was forced to give up its time-honored business, being too far away from the elite center of the population. Gone too is its large garden with beautiful trees ponds and rocks. Its disappearance is not only a great loss to the epicureans of Tokyo, but makes every lover of Yedo relics regret the passing of another familar landmark.

—Goro Murata in Nichi-bei.

Steveston Service Honors T. Shinde

STEVESTON—Local Y.M.B.A. will hold a memorial service for the late Takeshi Shinde at the Buddhist Mission tomorrow, at 2.30 p.m.

All members and friends are requested to attend. --K. Nishii.

Shuttle Clubs In Friendly Meet

Hokutokai won 17 games to Steveston Y.M.B.A's 10 as the two clubs met last night at Strathcona gym in first of series of friendly matches.

In men's doubles, Hokutokai won 8; Steveston, 4. Hokutokai finished ahead 7-3 in the mixed. Steveston led 3-2 in the women's event.

Walter Hears About A Fight

It's that man everybody calls Walter writing again.

Walter couldn't resist the temptation to tell a story of a certain group of young men who innocently walked through a neighbornig district some four evenings ago.

As told to Walter, by a friend of a friend of one of the young men, the Japanese were returning to our community from the home of one in the group, when the young men chanced to meet another gang twice their number.

The strangers are said to have hurled insulting remarks and taken an attitude of threatening bodily harm.

The Japanese, outnumbered, did not wait, but took up the challenge and fortunately, were able to rout the insulters without much trouble.

Even though the Japanese were within their rights to walk through any section of the city and had no intention to start trouble, Walter regrets to hear of clashes with people of that particular nationality in Vancouver.

The root of the cause for the ill-feeling towards Japanese can be readily understood, but Walter feels that what goes on in the East is entirely the business of those countries in question to settle.

It is poor policy for the second generation Japanese to be egged on by petty hooligans. It will be the Japanese who suffer in a quarrel of this nature.

It is hard to swallow insults. Walter doesn't expect anyone to bow meekly to them. But Walter believes that efforts should be made to prevent similar occurrences, as greater trouble might follow.

Let's do our best to keep clear of this kind of trouble.

京城の學生界を風靡する丸坊主

城大生が率先斬髪

（京城通信）

九重會親睦會

合同教會傳道 婦人會總會

レディースミスに製材所を新設中

メイヨ同胞の緊張振り

マーポル佛教會

レヂャイナに第二世の會

心陽會生る

ス村佛寺で故新出君追悼會

金、十大安賣

第三街聖公會

電話を御利用下さい 迅速配達

松宮食料品店